

あるまちのひとびとは、み
んなねむそうにしていまし
た。あさになっても、ひるに
なっても、まだめをこすって
います。まちのいえも、みち
も、まるでゆめのなかにいる
ようでした。それでも、ひと
びとはしあわせそうにくらし
ていました。

おがわみめい 「ねむいまち」より